

【問合せ先】

第一管区海上保安本部 警備救難部
環境防災課長 田中 公一
電話0134-27-0118 (内線3310)



令和3年10月7日
第一管区海上保安本部

大型油回収装置運用訓練の実施について

第一管区海上保安本部では、サハリンプロジェクトから石油等を出荷し、北海道周辺海域を航行する大型タンカー等の事故により、海上への大規模な油流出を想定し、巡視船を使用した大型油回収装置の運用訓練を実施します。

1 日時及び場所

- (1) 岸壁上での資機材展開訓練(網走港第一ふ頭/巡視船ゆうばり定係地)

令和3年10月12日(火)08:30 ~ 17:00

【※取材対応時間 13:00 ~ 14:00】

- (2) 洋上訓練(網走港沖合海域)

令和3年10月13日(水)08:30 ~ 17:00

【※取材不可】



2 概要

サハリンプロジェクトから石油等を出荷し北海道周辺海域を航行する大型タンカー等の事故により、積荷や燃料油である油が海上に流出し沿岸に漂着した場合には、海洋生物や周辺環境に甚大な影響を及ぼすおそれがあることから、流出した油が沿岸に漂着する前に可能な限り洋上で回収する必要があります。

本訓練では、海上保安庁で油防除のスペシャリストである機動防除隊の指導のもと、本年3月網走に配備された大型油回収装置(カレントバスター)の運用訓練を実施し、大規模油流出事案への対応に万全を期すことを目的としています。

3 訓練勢力

第一管区海上保安本部

網走海上保安署

網走海上保安署所属巡視船ゆうばり

横浜機動防除基地(第三管区海上保安本部) 機動防除隊

4 取材対応について

(1) 10月12日(火)岸壁上での資機材展開訓練は取材可能です。

取材希望の報道機関は、当日、訓練場所へ直接起こし下さい。

(2) 10月13日(水)洋上訓練の映像・画像につきましては、オンラインストレージにて配信します。

なお、気象・海象の影響等により、洋上訓練の一部又は全部を実施できない場合がありますので、その際は予めご了承ください。

5 その他

気象・海象の影響、海難等緊急対応その他の理由により、訓練の一部又は全部を中止することがあります。

6 参考（機動防除隊について）

全国各地で発生する海難等により海上に排出された油、有害液体物質、危険物等の防除措置や海上火災に対する消火及び延焼防止措置に関し、現場において技術的な指導・助言を行っています。

平時には、事故対応に必要な研修・訓練を行うほか、排出油防除協議会等での講習会の講師を努めるなどして油防除を中心とした海上防災に関する知識の普及に努めています。また、近年国際協力業務として海上防災に関する高度の知識と技術を活用した支援及び教育訓練を東南アジア諸国に対して行っています。

平成7年(1995年)4月に発足以来、平成9年ナホトカ号、ダイヤモンドグレース号、令和2年モーリシャス沖での日本籍貨物船座礁事故対応等、出動実績は400件を超える。



■ 10月12日(火)訓練実施場所



訓練進行スケジュール

- 08:30 訓練準備
訓練打合せ
- 13:00 訓練整列
(網走海上保安署長訓示)
- 13:10 資機材展開訓練開始
- 17:00 訓練終了

※取材対応については、訓練の都合上、
13:00～14:00迄の間とさせていただきます。

■ 大型油回収装置(カレントバスター)概要



大型油回収装置

製品名 カレントバスター4
NOFI 社製(ノルウェー)

収油・回収を目的としたオイルフェンスで、曳航船により曳航し、後部の油溜りに約30KLの油を集めることが可能。

全長 36.8m

重量 900kg

配備部署 横浜、網走

